



学校評価だより

令和5年度 後期号

令和6年3月19日

京都市立正親小学校

校長 阿部 正人

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございます。
後期のアンケート結果をもとに来年度の教育活動に生かしていきます。

保護者の皆様にご協力をいただいております「みんなで子育てアンケート」による結果を、学校評価の大切な指標とさせていただき、皆様のご意見を本校教育に生かすよう、取組を進めてまいりました。今年度も7月と1月の2回、アンケートにご協力をいただきました。1月に実施しました後期のアンケート結果をもとに、継続発展すべきところ、改善すべきところを明らかにし、来年度の教育活動に生かしていきたいと思ひます。

◇児童アンケート結果より
「がんばれていること」や今年度前期との比較

アンケート項目は、「徳育（豊かな心）」「知育（確かな学力）」「体育（健やかな体）」という、学校教育でつけたい力に沿った項目を設定しています。三つの力それぞれについて、今年度前期と比較をしてどのような傾向があるのか見ていきます。

R5 前期 児童調査～実現度～

		児童質問紙	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
徳	1	学校が楽しい	73.8%	24.4%	1.3%	0.6%
徳	2	自分からあいさつができる	59.4%	34.4%	4.4%	1.9%
徳	3	友だちにやさしくしている	67.5%	26.9%	5.0%	0.6%
徳	4	たてわり活動が楽しい	76.7%	15.7%	6.3%	1.3%
徳	5	「学校のきまり」をまもっている	62.5%	36.3%	1.3%	0.0%

R5 後期 児童調査～実現度～

		児童質問紙	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
徳	1	学校が楽しい	70.8%	23.6%	4.3%	1.2%
徳	2	自分からあいさつができる	60.9%	34.2%	5.0%	0.0%
徳	3	友だちにやさしくしている	72.7%	26.1%	0.6%	0.6%
徳	4	たてわり活動が楽しい	70.2%	23.0%	5.6%	1.2%
徳	5	「学校のきまり」をまもっている	62.5%	36.9%	0.6%	0.0%

「徳育（豊かな心）」では、どの項目も90%以上の児童が「よくできている」「だいたいできている」と回答しています。

その中でも特に、「友だちにやさしくしている」「『学校のきまり』をまもっている」の項目で、多くの児童が良い評価をしています。本校では、同学年だけではなく他学年の友達とも仲良くし、関係を深めている姿が見られます。そのことは「たてわり活動が楽しい」の結果からもわかります。友達にやさしくできる人は、相手のことを大切に思うと共に自分のことも大切に思うことができます。そのような児童の心を今後も育てていきたいと思ひます。また、き

まりを守る規範意識がしっかり育っています。引き続き、なぜきまりを守る必要があるのかをしっかりと考え、判断・行動できる児童に育てていきたいと思ひます。「友達にやさしく」「きまりを守る」ということが、「学校が楽しい」ということにつながっていると思ひます。

「自分からあいさつができる」の項目について、毎朝の校門でのあいさつや、職員室に入室する際のあいさつ、教室でのあいさつ、あいさつを通しての「会話のキャッチボール」等、学校生活の中でいつも意識して取り組んできたことが、あいさつをする児童の姿につながっていると思ひます。教職員がすすんであいさつをするなど、まわりの大人が良い見本となり、あいさつをすることや「会話のキャッチボール」の心地よさを感じられるようにしていきたいと思ひます。

R5 前期 児童調査～実現度～

知	6	勉強が楽しい	57.6%	34.8%	5.7%	1.9%
知	7	すすんで学校での学習に取り組んでいる	48.8%	40.0%	10.6%	0.6%
知	8	授業中考えたことが発表できる	42.8%	28.3%	26.4%	2.5%
知	9	先生や友だちの話をしっかりと聞くことができる	66.7%	30.2%	3.1%	0.0%
知	10	すすんで読書をしている	65.6%	20.0%	10.6%	3.8%
知	11	家で宿題をきちんとしている	83.0%	14.5%	1.9%	0.6%
知	12	宿題のほかに勉強をしている	46.9%	24.4%	15.0%	13.8%

R5 後期 児童調査～実現度～

知	6	勉強が楽しい	52.5%	36.3%	8.8%	2.5%
知	7	すすんで学校での学習に取り組んでいる	46.6%	41.0%	11.2%	1.2%
知	8	授業中考えたことが発表できる	37.9%	36.0%	23.6%	2.5%
知	9	先生や友だちの話をしっかりと聞くことができる	70.2%	26.7%	2.5%	0.6%
知	10	すすんで読書をしている	54.1%	29.9%	12.7%	3.2%
知	11	家で宿題をきちんとしている	75.8%	21.7%	1.9%	0.6%
知	12	宿題のほかに勉強をしている	50.3%	23.0%	16.8%	9.9%

「知育（確かな学力）」では、「勉強が楽しい」「すすんで学校での学習に取り組んでいる」「先生や友だちの話をしっかりと聞くことができる」「家で宿題をきちんとしている」の項目で「よくできている」「だいたいできている」の回答が多くなっています。特に宿題についての項目では、ほとんどの児童が「よくできている」「だいたいできている」と答えています。この結果から、宿題をきちんとするという意識や習慣が定着していることがわかります。

「授業中、考えたことが発表できる」の項目では、「よくできている」「だいたいできている」を合わせた割合が70%台前半となっています。GIGA端末やICT機器を活用し、授業中に考えたことを交流する方法の工夫をしてきましたが、後期では26.1%の児童が「できていない」「あまりできていない」とふり返っています。児童が自分の考えを発表できるよう、さらに授業改善に努めていきたいと思ひます。

「すすんで読書をしている」の項目では、「よくできている」「だいたいできている」を合わせた割合が80%台半ばとなっています。図書館を中心に校内の読書環境を整備していることが、すすんで読書をする児童の姿につながっています。授業の中でも図書館を活用する時間を設定するなど、児童が主体的に読書環境に関わることができるよう、指導を継続していきたいと思ひます。

R5 前期 児童調査～実現度～

体	13	「早寝・早起き・朝ごはん」がきちんとできている	47.5%	33.8%	16.3%	2.5%
体	14	進んで体を動かしたり、運動をしたりしている	68.8%	22.5%	7.5%	1.3%

「**体育（健やかな体）**」では、「『早寝・早起き・朝ごはん』ができています」の項目で、「よくできている」「だいたいできている」と回答した児童が後期では90.6％となり、前期よりも多くなっています。健康で充実した毎日を送るために、十分な睡眠時間を確保すると共にしっかり朝食をとり、規則正しい生活習慣を身に付けることができるよう、指導を継続していきたいと思います。引き続きご家庭でのご協力をお願いいたします。

「**進んで体を動かしたり、運動をしたりしている**」の項目では、運動場でいろいろな学年の友達と一緒に、元気いっぱい遊ぶ児童の様子からも分かるように、多くの児童が「よくできている」「だいたいできている」と回答しています。マラソン大会に向けて取り組んだ「中間ランニング」では、友達同士で励まし合いながら、自分の目標に向かって一所懸命に走る姿が見られました。大なわ大会に向けて中間休みに取り組んだ「たてわり大なわ練習」では、上級生が下級生に跳び方をやさしく教える姿が見られました。このような取組を通して、運動にすすんで取り組もうとする意欲が育っているように思います。

三者(児童・保護者・教職員)の傾向を比較

令和5年度後期 実現度 三者比較(「よく出来ている」の回答が多い項目から順に)

児 童				(%)	保 護 者				(%)	教 職 員				(%)
知	11	家で宿題をきちんとしている		75.8%	知	11	児童が、家庭で宿題をしている		63.6%	徳	4	児童が、たてわり活動で楽しく活動している		41.7%
徳	3	友だちにやさしくしている		72.7%	徳	1	児童が、毎日楽しく学校へ通っている		61.0%	知	10	児童が、進んで読書をしている		41.7%
徳	1	学校が楽しい		70.8%	徳	5	児童が、「学校のきまり」を守っている		57.8%	他	18	授業参観や学校行事などへの参加を呼びかけている		41.7%
徳	4	たてわり活動が楽しい		70.2%	徳	4	児童が、たてわり活動で楽しく活動している		54.9%	徳	5	児童が、「学校のきまり」を守っている		33.3%
知	9	先生や友だちの話をしっかりと聞くことができる		70.2%	徳	3	児童が、友だちに優しくしている		50.6%	他	16	教職員が、学校・学級だよりやホームページなどで、取組の様子を発信している		33.3%
★	20	自分の夢や目標をもって過ごしている		69.4%	他	16	学校が、学校・学級だよりやホームページなどで、取組の様子を発信している		50.3%	他	17	一人一人の児童と対話している		33.3%
他	16	学校のできごとなどを家の人に話している		65.2%	体	14	児童が、進んで体を動かしたり、運動をしたりしている		50.0%	★	21	私は子どもが難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦することができるような働きかけをしている		33.3%
体	14	進んで体を動かしたり、運動をしたりしている		65.0%	他	18	授業参観や学校行事に参加している		44.8%	知	11	児童が、家庭で宿題をしている		25.0%
徳	5	「学校のきまり」をまもっている		62.5%	徳	2	児童が、自分からあいさつしている		42.2%	他	19	PTAや地域の活動への参加を呼びかけている		25.0%
徳	2	自分からあいさつができる		60.9%	他	15	学校が、児童の良さや可能性を伸ばすよう、取組を進めている		40.9%	徳	3	児童が、友だちに優しくしている		16.7%
★	18	自分にはよいところがあると思う		60.0%	他	17	学校の出来事などについて、親子で対話している		39.9%	知	6	児童が、楽しく勉強している		16.7%
知	10	すすんで読書をしている		54.1%	体	13	児童が「早寝・早起き・朝ごはん」を守っている		39.0%	知	7	児童が、進んで学校での学習に取り組んでいる		16.7%
体	13	「早寝・早起き・朝ごはん」がきちんとできている		53.1%	知	6	児童が、楽しく勉強している		36.4%	知	8	児童が、自分の考えを伝えている		16.7%
知	6	勉強が楽しい		52.5%	知	7	児童が、進んで学校での学習に取り組んでいる		32.5%	他	15	教職員が、児童の良さや可能性を伸ばすよう、取組を進めている		16.7%

R5 後期 児童調査～実現度～

体	13	「早寝・早起き・朝ごはん」がきちんとできている	53.1%	37.5%	7.5%	1.9%
体	14	進んで体を動かしたり、運動をしたりしている	65.0%	23.8%	10.0%	1.3%

知	12	宿題のほかに勉強をしている	50.3%	知	8	児童が、自分の考えを伝えている	27.9%	★	20	私は子どもが自分にはよいところがあると思うことができるような働きかけをしている	16.7%
★	19	難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	48.8%	知	9	児童が、人の話を聞いている	27.9%	徳	1	児童が、毎日楽しく学校へ通っている	8.3%
知	7	すすんで学校での学習に取り組んでいる	46.6%	知	10	児童が、進んで読書をしている	26.0%	徳	2	児童が、自分からあいさつしている	8.3%
他	15	話したいことを先生に話している	43.8%	他	19	PTAや地域の活動に参加している	22.1%	知	9	児童が、人の話を聞いている	8.3%
他	17	地域の行事に参加している	41.0%	知	12	児童が、宿題以外の学習(家庭でご準備された課題等)に取り組んでいる	21.4%	知	12	児童が、宿題以外の学習に取り組んでいる	8.3%
知	8	授業中考えたことが発表できる	37.9%	★	20	私は子どもが自分にはよいところがあると思うことができるような働きかけをしている	18.8%	体	13	児童が「早寝・早起き・朝ごはん」を守っている	8.3%
★は二条中学校ブロック重点項目				★	21	私は子どもが難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦することができるような働きかけをしている	16.8%	体	14	児童が、進んで体を動かしたり、運動をしたりしている	8.3%
				★	22	私は子どもが夢や目標をもって過ごすことができるような働きかけをしている	15.5%	★	22	私は子どもが夢や目標をもって過ごすことができるような働きかけをしている	8.3%

★は二条中学校ブロック重点項目 ★は二条中学校ブロック重点項目

◇児童・保護者・教職員の三者ともに実現度の割合が上位になる項目

児童・保護者・教職員の三者ともに実現度の割合が上位になる項目は、「**徳育（豊かな心）**」に関するものが多いです。このことから、友達関係や学校生活が充実しているということがわかります。「**知育（確かな学力）**」に関する項目では、宿題について「よくできている」の回答が、児童・保護者で1位という結果でした。家庭で学習する習慣はついており、家庭学習に対する保護者の方の声かけや学校の取組による成果が見られます。**本校が育成を目指す資質・能力である「主体的に学び高めあう力」**が、家庭学習に関わるところでも育っているように思います。今後は、家庭で学習したことを学校での学習活動の中で生かし、学校や家庭等あらゆる学習活動において充実度がさらに高まるよう、取組を進めていきたいと思います。

◇児童・保護者・教職員の三者ともに課題があると考える項目

「**授業中、考えたことが発表できる**」という項目で、児童は「できていない」「あまりできていない」を合わせると、後期では26.1％という結果でした。保護者の方は「できていない」「あまりできていない」を合わせると、後期では20.1％という結果でした。「授業中に自分の考えを発表する」ことを児童が自信をもって積極的にできるように、日々の授業の中で取組を進めてきましたが、この結果から「授業中に自分の考えを発表する」ということに課題があると考えております。自分の考えを発表することの基礎となる「聞く力・話す力」を育てるために、1時間の授業の中で「話し合い活動」の時間を設定すると共に、授業展開やGIGA端末・ICT機器の活用等を工夫しながら、「授業中に自分の考えを発表する」ことを児童が自信をもって積極的にできるよう、引き続き日々の学習指導を進めていきます。また、児童が「授業中に自分の考えを発表できた!」という実感をもつことができるように、発表の形態も含めてまだまだ工夫と改善が必要であると考えています。「授業中に自分の考えを発表する」ということは、**本校が育成を目指す資質・能力である「主体的に学び高めあう力」**に直接関わることであると考えております。低学年からの積み上げを大切にし、全学年での共通の課題と意識して、今後も取組を継続していきたいと思います。

今回のアンケート結果を、来年度の取組に生かしていきたいと思います。
アンケート調査のご協力、ありがとうございました。